

大正六年三月三十一日

京都帝國大學文科大学考古學研究報告

第一册

〔肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴〕

京都帝國大學發行

正 誤 表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
四二	一〇	骨齒	最大	四三	一五	推屋	椎屋
四一	一〇	最大	胸部	四八	小圖	第九圖	第八圖
三八	九	〔第二節〕華北郡日奈久町古墳「ト改メ」 次三〔甲〕田川内古墳「ト脱ス」	圓座乳	四八	一四	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
三三	九	圓座乳	圓座乳	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
三〇	一三	註下段	註下段	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
二九	一三	前記の如く「ト削ル」	前記の如く「ト削ル」	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
二八	一三	(6)	(6)	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
二八	一一	(5)	(5)	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
二四	一一	〔圖版第十一〕「ト脱ス」	〔圖版第十一〕「ト脱ス」	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一七	一一	〔圖版第九〕	〔圖版第九〕	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一九	一八	〔距離に先づ〕「ト脱ス」	〔距離に先づ〕「ト脱ス」	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一九	一四	〔距離に先づ〕「ト脱ス」	〔距離に先づ〕「ト脱ス」	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一七	一三	特種	特種	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一四	一六等	直弧紋	直弧紋	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一四	一七	堅緻	堅緻	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一三	一五	圖版D	圖版D	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一二	一一	第四圖	第四圖	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
八	一六	少なからず「側」「ト脱ス」	少なからず「側」「ト脱ス」	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
七	一七	局眼	局眼	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
六	一六	壁面	壁面	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
四	一一	川小田	千小田	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」
一	一一	郡々記	郡書記	五〇	一七	〔圖版第三十〕「ト脱ス」	〔圖版第三十九〕「ト同一ノ比例」 尺「ト脱ス」

卷首圖版 古墳裝飾模様彩色圖

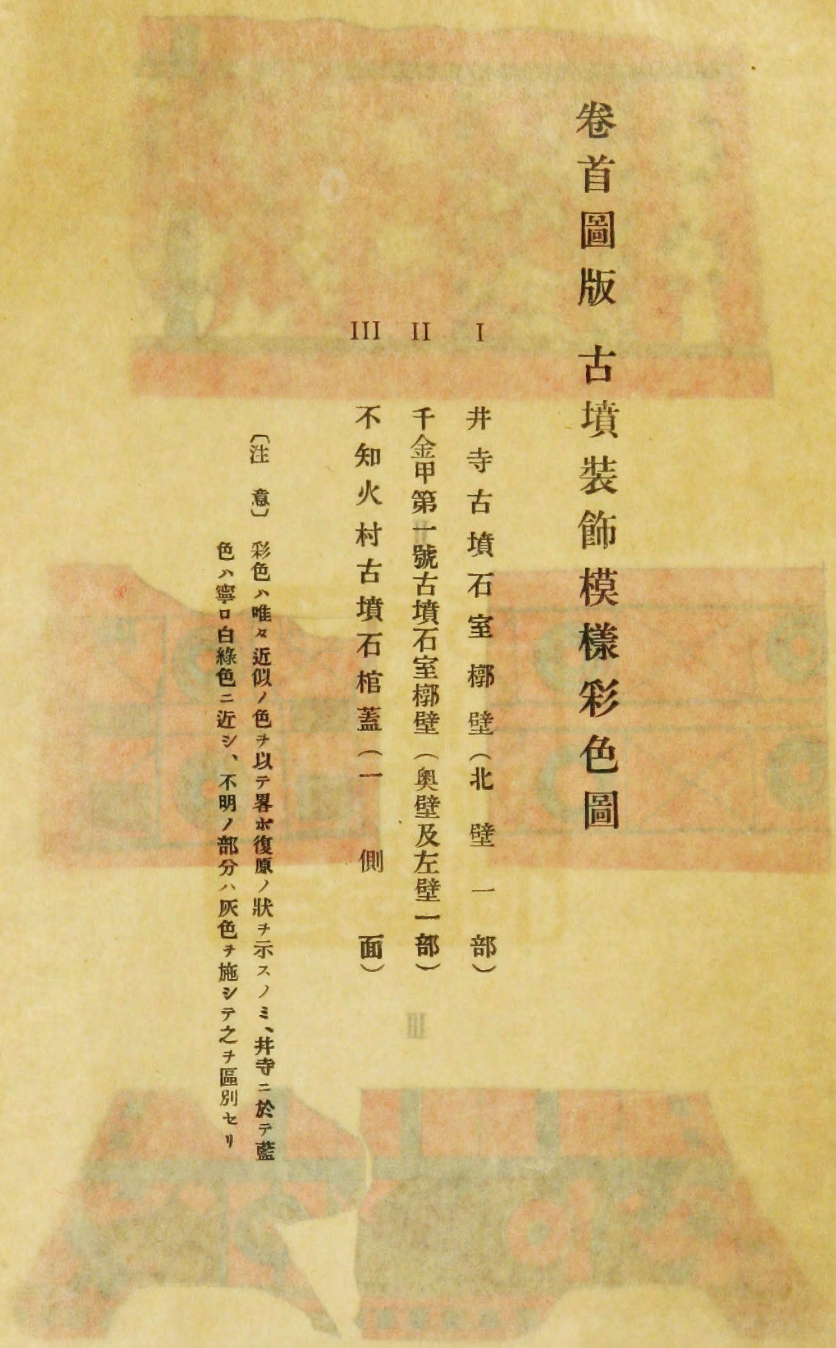
I 井寺古墳石室 槲壁（北壁 一部）

II 千金甲第一號古墳石室 槲壁（奥壁及左壁一部）

III 不知火村古墳石棺蓋（側面）

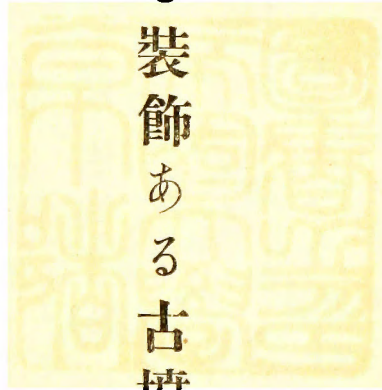
〔注意〕

彩色ハ唯々近似ノ色ヲ以テ畧ホ復原ノ狀ヲ示スノミ、井寺ニ於テ藍色ハ寧ロ白綠色ニ近シ、不明ノ部分ハ灰色ヲ施シテ之ヲ區別セリ



濱田耕作 梅原末治著

肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴



京都帝國大學文科大學
考古學研究報告 第一冊

序言

本冊は大正五年十二月下旬より同六年一月中旬の間に於ける著者の熊本縣下に於ける裝飾ある古墳及横穴に關する調査の結果を收めたるものにして、其の稿略は成りたる後、報告の正確を期せんが爲め、本年三月梅原末治をして再び調査を重ねしめたる部分ありと雖、本年一月以後の新發見に係るものは、日奈久古墳の内部整理の結果に關するものを除き、此の調査に洩れたる地方に屬するものと共に、更に第二冊以後に於いて之を發表せんことを期す。

本文は著者各々項を分ちて執筆せるを以て、努めて体裁の一致を謀れりと雖も、未だ完からざる所少なからず、目次各項中*の記號を冠せるものは梅原末治の手に成り、其の他は余の筆に係る、記して以て其の責任を明にす。

著者は此の報告を公にするに方りて、熊本縣の官憲より得たる多大の厚意を感謝すると共に、特に熊本縣屬矢野寛君、文學士古賀徳義君、笹原助君、熊本縣師範學校教諭角田政治君、玉名中學校教諭大槻弘毅君、玉名郡々記堀亮策君、玉名郡横島村高等尋常小學校長武田又男君等が始終著者に與へられたる公私の助力と厚情とに向つて深謝の意を表せざるを得ず、是れ本調査を遂行するを得たる、全く此等諸氏に負ふ所多ければなり。

本篇收むる所の圖版の中、圖面の全部及び寫眞の一部は著者の製作撮影に成ると雖も、其の内千金甲古墳柵壁、玉名村永安寺西古墳石室入口、日奈久古墳石室内部、鹿本郡鍋田村横穴の寫眞は古賀文學士の撮影に係り、日輪寺古墳柵壁の寫眞は文學士谷井濟一君の製作に係る、兩君

が之を惠與せられたることを感謝す、又た大村及京ヶ峯横穴の寫眞は人吉^レとをやま^レ寫眞館に、六嘉村古墳及石貫村横穴等は熊本市富重寫眞館をして撮影せしむ、東京帝室博物館の所藏品に就きては、同館學藝委員高橋健自君の厚意を借るもの多く、茲に感謝の意を表す、なほ一二寫眞の建築學會藏版^レ文樣集成^レ等より轉載せるものあり、一々別に其の出所を記して負ふ所を明にせり、最後に著者は又た事實の報道等に關して本學講師文學博士喜田貞吉君及び東京帝室博物館の和田千吉君等より得たるもの一二にして止まらず、寫眞製圖等に就きては本學助手島田貞彦君を煩はせるもの鮮からず、併せて深謝の意を表す。

大正六年三月

文科大學助教授 濱田耕作

目次

第一章	序説	………	一頁
*第一節	裝飾を有する横穴の分布	………	四
第二節	裝飾附加の場所	………	六
第二章	熊本附近の遺跡 附久留米市日輪寺の古墳	………	八
第一節	上益城郡六嘉村大字井寺古墳	………	八
*第二節	飽託郡小島町千金甲高城山古墳群	………	一六
* (甲)	第一號古墳	………	一七
* (乙)	第三號古墳	………	二〇
* (丙)	第二號及第四號古墳	………	二三
*第三節	宇土郡不知火村古墳	………	二四
*第四節	筑後國久留米市日輪寺古墳	………	二九
第三章	八代附近の遺跡	………	三六
第一節	八代郡金剛村大鼠藏古墳	………	三六
*第二節	葦北郡日奈久町古墳	………	三八

(甲) 田川内古墳 …… 三九

(乙) 永追古墳 …… 四三

第三節 天草郡阿村の古墳 …… 四四

(甲) 大戸北古墳 …… 四五

(乙) 大戸南古墳 …… 四六

第四章 人吉附近の遺跡 …… 四八

第一節 球磨郡大村城ケ下横穴群 …… 四八

(甲) 第四號及第五號横穴 …… 四八

(乙) 第七號及第八號横穴 …… 五〇

(丙) 第十號、第十一號及第十五號横穴 …… 五二

第二節 球磨郡西村京ヶ峰の横穴 …… 五四

第五章 高瀬附近の遺跡 …… 五八

*第一節 玉名郡玉名村の三古墳 …… 五八

(甲) 大坊古墳 …… 五九

(乙) 永安寺東古墳 …… 六〇

(丙) 永安寺西古墳 …… 六二

第二節 玉名郡石貫村の横穴群 …… 六四

(甲) 石貫村大字石貫字清安寺横穴 …… 六五

(イ) 穴観音横穴	*(ロ) 全左横穴	*(ハ) 全右横穴
(乙) 石貫村大字石貫小字ナギノ横穴	(イ) 第二號横穴	*(ク) 第六號横穴
*(ニ) 第八號横穴	*(ホ) 第十號横穴	*(ヘ) 第十七號横穴
*(ト) 第廿七號横穴	*(チ) 第三十三號横穴	*(リ) 第四十一號横穴

七〇

第六章 後

論	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	八〇
第一節 裝飾模様の種類と其の意義(上)	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	八〇
第二節 裝飾模様の種類と其の意義(下)	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	八五
第三節 裝飾古墳の年代	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	九三
第四節 結論	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	九八

圖版目次

卷首 古墳裝飾模樣彩色圖 (色摺)

本文參照頁

第 十	全上第三號古墳石室障屏模樣	二二
第 九	全上第二號古墳石室平面及斷面圖	二〇
第 八	全上第一號古墳石室平面及斷面圖	一九
第 七	日輪寺古墳石室槲壁模樣拓本	一八
第 六	全上第二號古墳石室槲壁模樣拓本	一三
第 五	全上第一號古墳石室槲壁模樣拓本	一二
第 四	全上石室槲壁及石室壁面寫真	一一
第 三	井寺古墳全景及石室入口寫真	一〇
第 二	不知火古墳石棺蓋(一側面)	九
第 一	井寺古墳石室槲壁(北壁一部)	九
III	千金甲第一號古墳石室槲壁(奧壁及左壁一部)	九
II	不知火古墳石棺蓋(一側面)	二八
I	井寺古墳石室槲壁(北壁一部)	二〇
	井寺古墳石室槲壁(北壁一部)	二四

第十一	全上第一號古墳槨壁一部寫真	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	一九
	不知火村古墳石棺寫真	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	二六
第十二	不知火村古墳及槨壁平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	二五
第十三	全上石棺平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	二六
第十四	全上石棺模樣拓本	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	二七
第十五	久留米市日輪寺古墳石室平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	三〇
第十六	全上槨壁及發見遺物寫真	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	三一
第十七	大鼠藏古墳石室平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	三七
	日奈久町田川內古墳石室平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	三九
第十八	大鼠藏古墳石室槨壁模樣拓本	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	三八
	阿村南北古墳石室槨壁模樣拓本	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	四五、四六
第十九	日奈久町田川內古墳石室槨壁模樣拓本	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	四〇
第二十	全上石室內部及發見遺物寫真	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	四一
第二十一	日奈久町永迫古墳石室槨壁遺材寫真及模樣拓本	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	四四
第二十二	阿村南北兩古墳石室平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	四五、四六
第二十三	全上及小石棺寫真	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	四五、四七
第二十四	大村第四、第五、第七、及第八號橫穴平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	四九、五〇、五二
第二十五	全上第十、第十一號橫穴平面及斷面圖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	五二

第二十六	京ヶ峰横穴平面及断面圖	五五
第二十六	大村第四、第五及第十五號横穴寫真	四九、五三
第二十七	全上第七號横穴及側壁彫刻寫真	五〇
第二十八	全上第十及第十一號横穴寫真	五二
第二十九	京ヶ峰横穴寫真	五五
第三十	大村横穴表飾拓本寫真	四九—五三
第三十	京ヶ峰横穴表飾拓本	五六、五七
第三十一	玉名村永安寺東古墳石室平面及断面圖	六〇
第三十二	全西古墳石室平面及断面圖	六二
第三十三	全兩古墳石室入口寫真	六〇、六一
第三十四	全大坊古墳石室平面及断面圖	五九
第三十五	石貫村穴觀音及左右横穴平面圖	六六—七〇
第三十六	全上断面圖	六六—七〇
第三十七	全上入口寫真	六六、六九
第三十八	全上穴觀音内部及佛像寫真	六六、六八
第三十九	石貫村第二、第六及第七號横穴平面及断面圖	七一—七三
第四十	全上第八、第十及第十七號横穴平面及断面圖	七五—七六
第四十一	全上第廿七、第三十三及第四十一號横穴平面及断面圖	七六—七七

第四十二	全上第六、第七及第八號橫穴入口寫真	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	七二—七四
第四十三	全穴觀音左橫穴及第二、第七號橫穴內部寫真	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	六九、七二、七三
第四十四	全上第八、第十及第四十一號橫穴內部寫真	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	七五、七六、七八
第四十五	全上橫穴入口及石厨子裝飾模樣圖	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	六六—七七
地 圖	肥後ニ於ケル裝飾古墳分布地圖	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	四

小 圖 目 次

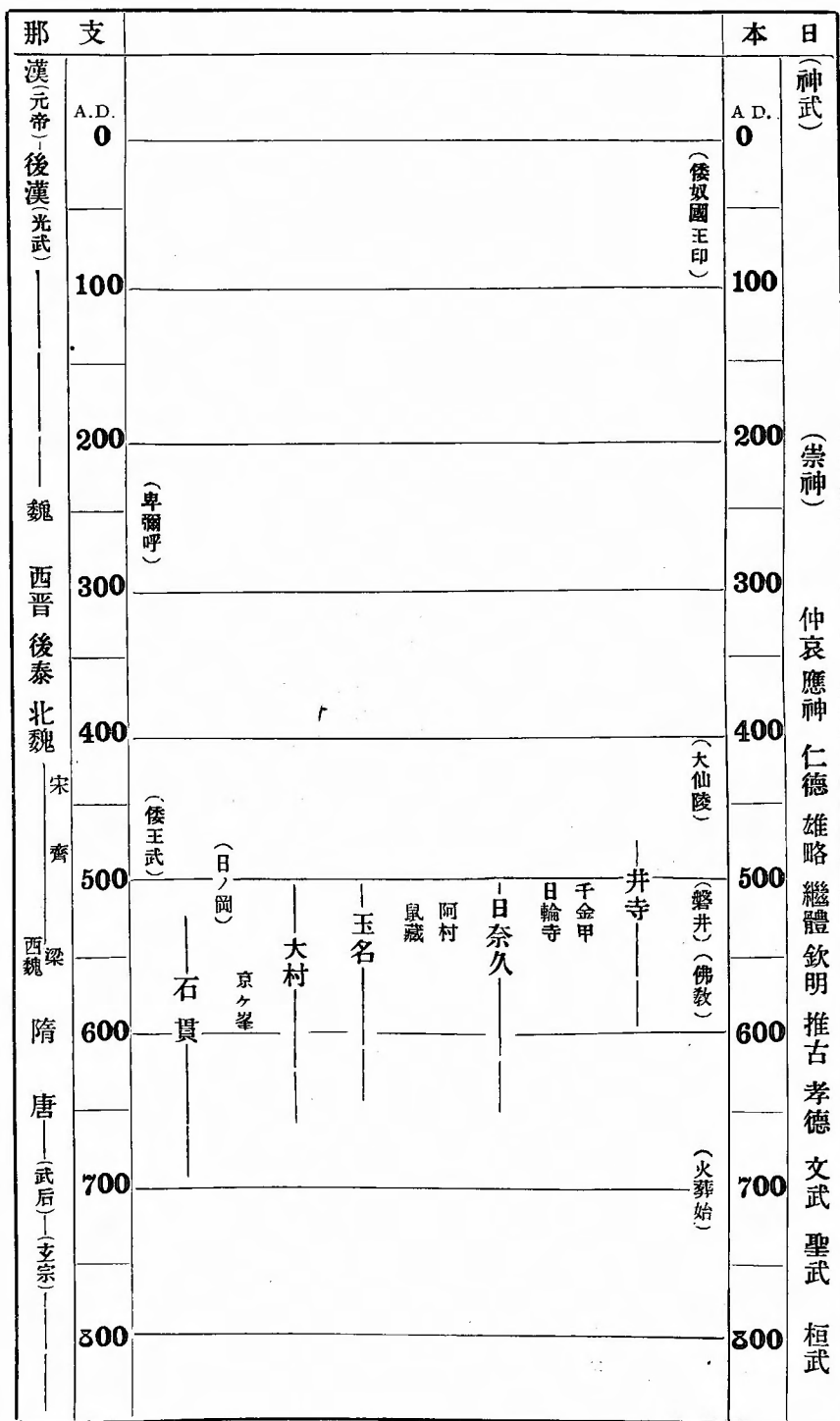
第一圖	井寺古墳石室內略圖	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	九
第二圖	全上石室天井石及奥區石棚(實測圖)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	一〇
第三圖	全上發見刀劍(富重寫真)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	一一
第四圖	全上石室裝飾模樣分子(拓本)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	一二
第五圖	千金甲第一號古墳槲壁模樣斷面圖(著者寫生)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	二〇
第六圖	不知火村古墳石棺引上作業(著者寫真)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	二五
第七圖	大鼠藏及小鼠藏島遠景(著者寫真)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	三七
第八圖	大村橫穴所在地全景(著者寫真)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	四八
第九圖	大村橫穴附近發見蕨手劍(遠山寫真)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	五四
第十圖	京ヶ峰第一號橫穴(著者寫真)	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	： ：	五五

第十一圖	京ヶ峰横穴模様断面圖(著者寫生)	五	六
第十二圖	穴觀音横穴通路内面廂模様(著者寫生)	六	八
第十三圖	穴觀音左側壁矢筒形彫刻(著者寫生)	六	九
第十四圖	石貫村ナギノ横穴群排列圖(著者測定)	七	二、七三
第十五圖	石貫村第七號横穴石厨子與壁彫刻模様(拓本)	七	四
第十六圖	石貫村第七號横穴壁面浮彫刀劍(拓本)	七	四
第十七圖	全上第十號横穴壁面浮彫刀劍(拓本)	七	五
第十八圖	筑後吉田山石製樹物 <small>(著者寫生及筑後石人寫真集ヨリ)</small>	八	一
第十九圖	矢筒表現埴輪(著者寫生)	八	二
第二十圖	鹿本郡鍋田村横穴外壁彫刻古賀文學士寫真	八	三
第二十一圖	常陸國東茨城郡吉田村古墳石槨彫刻(拓本)	八	三
第二十二圖	古墳發見鹿角製大刀裝具彫刻模様(文様集成)	八	三
第二十三圖	石製釧(文様集成)	八	三
第二十四圖	南洋トンガ島土人棍棒彫刻模様 <small>(ハツドク氏著美術の進化ヨリ)</small>	九	〇
第二十五圖	畿内諸地方發見埴輪模様(寫真及拓本)	九	〇
第二十六圖	備中都窪郡加茂村新庄下古墳槨壁模様(文様集成)	九	〇

(對頁) 八八

(對頁) 八八

肥後裝飾古墳假定年代表



補 正

印刷後訂正若しくは増補を要する個所を發見したるものを左に掲ぐ

〔第四頁〕 第七行（註2）

今城の大塚古墳の石室槨壁の様子は、和田千吉君實査の結果、今なほ明瞭に同心圓楕形三角形等を朱青白の三色を以て、奥壁に描けるものあるを見る。

〔第四頁〕 第八行（註4）を加ふ

以上の外、宇土郡花園村字立岡御陵墓傳説地古墳の石棺にも彫刻あり、今は埋沒せられて見ることを得ずといふ、和田千吉君の談に據る。（人類學教室刊古墳横穴地名表參照）。

〔第七頁〕 第四行

河内玉手山安福寺の石棺は其後セイス博士ビシヨツブ君と共に調査の際、ビシヨツブ君の説に本き、石棺の蓋なりとするを穩當とす可きを認めたり、依つて第廿九頁註(7)には之を蓋と記したり。

〔第廿頁〕 第五圖



上圖を第五圖千金甲第一號古墳奥壁紋様斷面圖に加ふ。

大正六年五月二十五日印刷
大正六年五月三十日發行

發行者 京都帝國大學

活版印刷人

大宮季治

京都市上京區二條通河原町角翠山堂

寫真石版印刷人

桑名節

京都市下京區柳馬場通姉小路下ル

玻璃版印刷人

谷山均

京都市上京區丸太町通小川東入

賣捌所 丸善株式會社

東京、京都、大阪、福岡、仙臺

